



～さらに安全・安心なまちをめざして～

セーフコミュニティ通信

第2号

発行 平成27年12月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

セーフコミュニティの誕生とあゆみ



セーフコミュニティ活動の誕生は、約40年ほど前の1970年代に、スウェーデンのコミュニティで始まった傷害予防の取り組みが起点と言われております。

この取り組みにより、外傷による受診率の低下、住民意識度の向上および予防活動の関心の高まりが結果として報告され、北欧を中心に更なる広がりを見せることとなりました。

当時、外傷を健康課題と認識したWHO（世界保健機関）は、現在の「セーフコミュニティ」活動の促進のため、スウェーデンにある研究所（カロリンスカ医科大学）との協働でWHO地域安全推進協働センターを設置し、セーフコミュニティ認証制度を創設しました。

認証地域は、スウェーデンやノルウェーをはじめとする北欧、オセアニア、北アメリカ、韓国や中国などのアジア地域での認証が多く、人口規模に関しては、千人程度の村や数百万人の大都市と様々ですが、近年、セーフコミュニティは世界レベルでの広がりを見せています。

事故やけがの原因を追究！ 合同対策委員会を開催



第3回合同対策委員会 平成27年9月15日（火）（場所：市役所正庁）



本日の作業開始！



グループで課題を出し合って

第3回合同対策委員会は、「郡山市セーフコミュニティ地域診断」結果や今年8月に郡山市が新たに作成した「グラフ郡山「データブック」2015」等を用いて、市内での事故やけがに関するデータから様々な課題を探し出すワークショップを開催しました。

委員の皆さんは、データ分析という慣れない作業ながらも、本市セーフコミュニティアドバイザーの白石氏からアドバイスをいただきながら、各グループ内で様々な意見を出し合い「ふるさと郡山」をあらゆる目線からデータ分析を行いました。



白石先生のアドバイスをもとに・・・



様々な課題を付箋に記載



みんなの成果を発表



第4回合同対策委員会 平成27年10月13日(火) (場所:市役所正庁)

前回の対策委員会で出された主観的、客観的な課題について何らかの対策を講じる必要性について精査し、取り組むべき優先順位をつける作業を行いました。委員の皆さんは、時には談笑しながらも、普段感じていることを話し合い、様々な課題について意見を出し合っていました。1つの対策委員会をAとBの2つのグループに分けて作業を行ってきましたが、次回の第5回対策委員会では、グループを一本化し、今回出された課題のキーワードについて、更なる議論を行い、取り組むべき重点課題を見出す作業をする予定です。

【交通安全対策委員会】

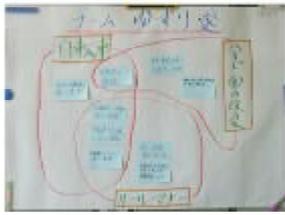
【交通安全対策委員会A】



課題キーワード

- ・高齢者の交通安全
- ・自転車の安全通行
- ・交通環境

【交通安全対策委員会B】



課題キーワード

- ・自転車の安心走行
- ・ハード面の改良
- ・交通ルールやマナー



【こどもの安全対策委員会】

【こどもの安全対策委員会A】



課題キーワード

- ・こどもの交通安全
- ・こどもの健康
- ・虐待の防止

【こどもの安全対策委員会B】



課題キーワード

- ・スマホ対策
- ・通学路の安全対策
- ・放課後の子どもたちの安全対策

【高齢者の安全対策委員会】

【高齢者の安全対策委員会A】



課題キーワード

- ・高齢者の交通事故
- ・高齢者の転倒
- ・地域のつながり

【高齢者の安全対策委員会B】



課題キーワード

- ・高齢者の交通事故
- ・自宅での事故
- ・地域のつながり
- ・外出時の事故

【自殺予防対策委員会】

【自殺予防対策委員会A】



課題キーワード

- ・相談
- ・健康
- ・お金(家庭経済)
- ・実態
- ・年代

【自殺予防対策委員会B】



課題キーワード

- ・働き盛りの男性の自殺
- ・自殺予防の仕組み
- ・若者の自殺が減らない



【防犯対策委員会】

【防犯対策委員会A】



課題キーワード

- ・駅前対策
- ・住宅街対策
- ・弱者対策

【防犯対策委員会B】



課題キーワード

- ・地域住民のつながり
- ・犯罪防止
- ・こどもの安全
- ・防犯活動



【防災・環境安全対策委員会】

【防災・環境安全対策委員会A】



課題キーワード

- ・自然災害
- ・高齢者の対策
- ・コミュニティ
- ・労働災害

【防災・環境安全対策委員会B】



課題キーワード

- ・防災意識の高揚
- ・生活空間の安全



第5回合同対策委員会 平成27年11月10日（火）（場所: 市役所正庁）

これまで1つの対策委員会を2グループに分けてワークショップを行ってきましたが、第5回対策委員会からは、同じ対策委員会の2グループを一本化し、同じ対策委員会のメンバーが1つの対策委員会として本格的に活動を行う体制となりました。

今回は、2グループから出された前回の課題キーワードを整理し、各対策委員会として取り組むべき重点課題や今後の方向性（目標）を導き出す作業を行いました。



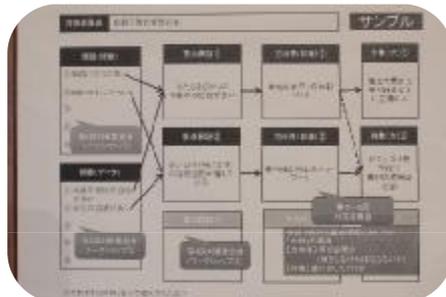
作業手順を説明する白石氏



前回の作業をみんなで振り返って・・・



積極的にみんなで意見を出し合っている様子



今回はみんなでこの作業！



白石氏からのアドバイス



最後にグループごとに成果を発表



安全・安心なまちへ！



今後の対策委員会開催予定

○第6回合同対策委員会

平成27年12月14日（月）

午後1時30分～午後3時30分

会場：市役所本庁舎 2階 正庁

○セーフコミュニティ研修会（※ 第6回合同対策委員会終了後）

平成27年12月14日（月）

午後3時40分～午後5時00分

会場：市役所本庁舎 2階 特別会議室

講師：神奈川県厚木市

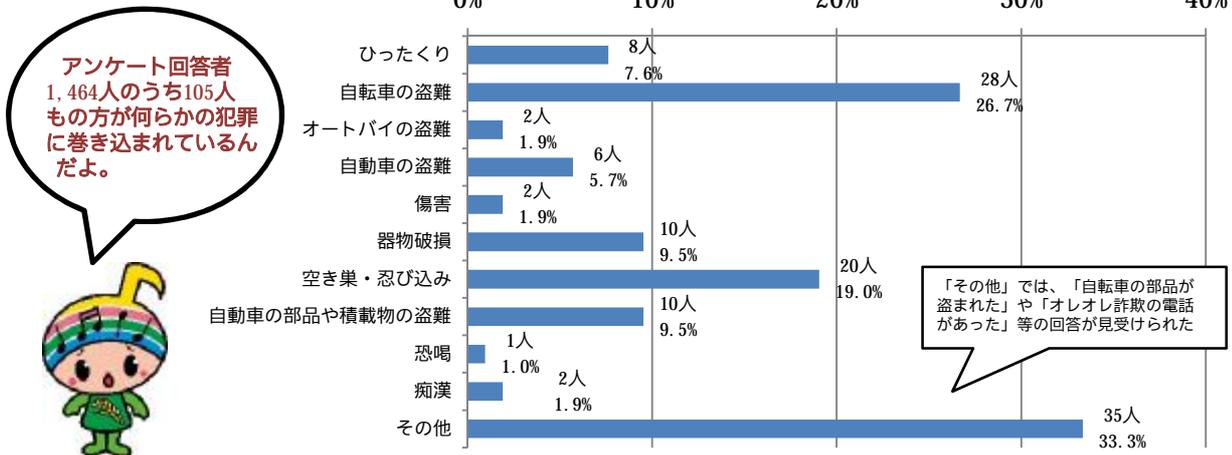
セーフコミュニティ総合指導員 倉持 隆雄 氏

～シリーズ～ データから郡山市をみてみよう

(第2回) 過去1年間でまきこまれたことのある犯罪と犯罪への不安

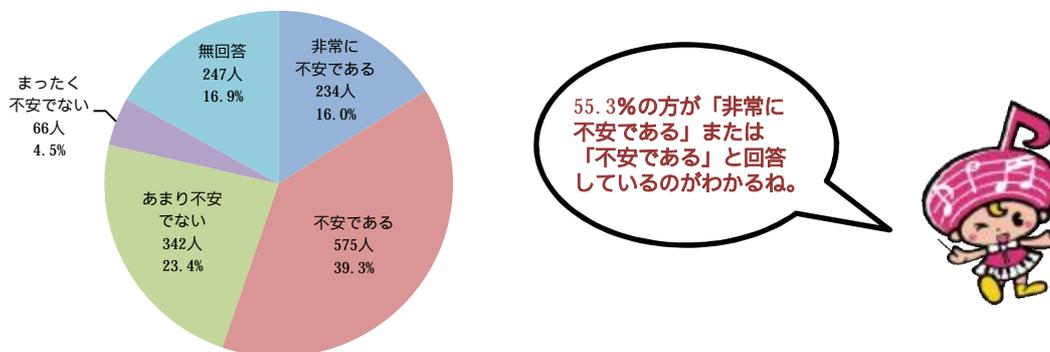
(平成26年度市民意識調査アンケート結果より)

過去1年間でまきこまれたことのある犯罪 (回答者: 105人 複数選択)



過去1年間で、まきこまれたことのある犯罪は、自転車の盗難に次いで空き巣や忍び込みが多いものの、その他の犯罪として、自転車部品の盗難やオレオレ詐欺の電話などによる犯罪が多発していることがわかります。

犯罪にまきこまれることへの不安 (回答者: 1,464人)



犯罪に対して、アンケート市民の16.0%の方が「非常に不安である」、39.3%の方が「不安である」と回答しており、半数以上の市民の方が犯罪にまきこまれることへの不安を抱いています。

このことから、市民総参加でセーフコミュニティを推進し、「より安全・安心なまち“こおりやま”」を目指していきましょう。

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail siminnanzen@city.koriyama.fukushima.jp